

区政をきく

(一般質問)

平成30年第2回定例会では、区政全般について、
10名の議員が一般質問を行いました。
以下、概要をお知らせします。

一般質問

6月29日(金)

石田 ちひろ
議員（共産）

石田 秀男 議員（自・未）

いながわ貴之 議員（民・無）

あくつ 広王 議員（公明）

西本 貴子 議員（無所属）

大沢 真一 議員（自・未）

吉田 ゆみこ 議員（ネット）

飯沼 雅子 議員（共産）

横山 由香理 議員（自・未）

塚本よしひろ 議員（公明）

会派名は次の略語で記載しています。

一般質問とは

議員が、区の行政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。各定例会で行われます。

石田ちひろ 議員



羽田新ルートの容認、二枚舌、隠ぺいは許されない

計画撤回を国に求める区政に転換を

問 国交省が今年3月末に示した落下物対策について、国交大臣は「ゼロをめざす」と述べるだけで、「ゼロにする」とは言えなかった。この対策では落下物をゼロにできないと思うが、いかがか。

答 3月に国が公表した「落下物総合対策パッケージ」は、落下物の予防と事後対策の強化を目的とするものだが、その具体的な内容は示されていない。区としては、万が一にも落下物が無い取り組みを具体的に示すよう、引き続き国に強く求めていく。

23区で最低レベルの障害者福祉
障害者の人権保障へ、施設の増設

とサービスの拡充を急げ

問 通所施設の就労継続支援B型は、区民人口の3分の1以上を占める荏原地域に1か所もなく、グループホームの整備率も、23区で知的が20位、精神が22位と最低レベルだ。グループホームや通所施設の整備計画策定と具体化を求める。

答 平成30年度から32年度までの3年間の第5期品川区障害福祉計画において、荏原地区を主として区内の施設開設を推進していくことを明記しており、施設開設を積極的に進めていく。

国保料の連続値上げをやめ、区独自の負担軽減を

滞納者への厳しい取り立てではなく、心を寄せた生活再建策こそ

問 国保の都道府県化の狙いは、自治体が独自に保険料の負担軽減のために行ってきた一般会計からの法定外繰入を廃止し、その分を保険料の値上げで賄うというものだ。法定外繰入を継続し、高過ぎる国保料は引き下げるべきだ。

答 国や都に対して、今後も引き続き財源の確保を要望していく。

「その他の質問」

- ・ 情報公開は住民参加と区政発展の土台 公開手数料は無料に

石田 秀男 議員



羽田空港について

問 騒音の軽減や落下物防止等の安全対策について、国の対応策が今後示されないのであれば、区長から国に対し「現行計画案の見直しも辞さない」などの言葉をぶつけ、対応を強く求めているいただきたい。

答 落下物対策総合パッケージ等の具体的内容が示されていないなど、区民の不安の払拭につながる国の取り組みは不十分と考えている。早速に具体的な対応策を示すよう今まで以上に強く国に求めていく。

区内の街づくり・商業・産業・観光振興について

問 京浜急行北品川駅連続立体化事業で駅前交通広場をつくることばかり、多くの方々が反対となった旧東海道沿いの敷地を残し道幅は守るなど、地域の要望を聞き、変

更すべきでは。

答
旧東海道の景観と歩行者の安全に配慮した広場となるよう、引き続き地域からのご意見などを踏まえ検討を進めていく。

問 品川駅南地域では再開発協議会が設立され、地権者や地域の方々と協議が進められている。にぎわいあるまちへと変えていくためには、集客施設を建設するべきでは。

答 協議会において再開発のコンセプトに合わせた具体的な計画が検討されている。区としても魅力ある集客施設は必要と考えており、協議会とともに検討していく。

問 水辺の利活用を進めるため、特区や都市公園化、屋外広告物条例の緩和等を行い、ボードウォークや栈橋等にクラブハウス等が設置できるようにするべきでは。

答 様々な課題があることは認識している。近隣区や民間事業者と連携し、必要な支援等を行いながら、にぎわい創出に取り組んでいく。

「その他の質問」

- ・子育てについて
- ・東京オリンピック・パラリンピック開催について
- ・教育について
- ・高齢者対策について